

# 【別記3】保守点検業務内容一覧

NO. 5

■機器 空冷・水冷 汎用PAC

点検内容	点検項目	報告書記入欄	点検月											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機能点検	運転状況の確認(運転不可の場合、停止状態で確認)	ABCDEGI		○						○				
	冷媒系統の確認(※1)	B		○						○				
	送風機の確認	DEG		○						○				
	電気系統の確認	AD		○						○				
	保護機器の確認	CD		-						-				
状態点検	空気側熱交換器の確認	B		○						○				
	水側熱交換器の確認	B		-						-				
	パネルの確認	G		○						○				
	ドレンパンの確認	F		○						○				
	水配管系統の確認	DI		-						-				
	圧縮機の確認	A		○						○				
オプション	水質の確認			-						-				
	油の補充・入替え			-						-				
	空気側熱交換器の洗浄			-						-				
	水側熱交換器の薬品洗浄			-						-				
	フィルター清掃			-						-				
	フィルターの洗浄再生・交換			-						-				
	ドレンパン確認・清掃(※)			-						-				
	加湿器の確認・清掃(※)			-						-				
	加湿器給排水バルブ切替(加湿器搭載の場合)			-						-				
	ストレーナの確認、清掃(水回路)(※)			-						-				
	リモート点検			-						-				
【備考】														

注1 ○は、点検項目を示します。

注2 「報告書記入欄」は、点検完了後に提出する「空調冷熱機器保守点検作業報告書」の「点検結果」項目を示します。A：圧縮機 B：冷媒系統 C：保護機器 D：電気系統 E：送風機  
F：ドレン G：外装関係 H：室内機 I：付帯設備

注3 点検内容の「※」は、ビル管法対象の場合の点検等必要項目です。

注4 アクティブフィルターが設置されている場合は、電源端子部の締め付けトルクが製作所規定の値から変更されている可能性が高いので、特に注意して緩みの有無を確認してください。

注5 機器の停止中、休止中の場合は点検できない項目があります。

注6 当院の都合により長期間停止している機器においては、圧力確認(可能なもの)・冷媒漏えい確認・外観確認を依頼します。

注7 フロン漏えい検査<定期点検>の場合、初回点検は2023年5月に実施し、点検周期は36か月周期とします。

注8 ※1 『冷媒漏れ点検』に『気密検査』は含みません。『気密検査』が必要な場合は別途依頼します。

注9 ※2 フロン排出抑制法に基づく算定漏えい量の報告は当院が行います。フロン類の漏洩量データの提出(年1回)は4月1日～3月31日の期間で集計を行った後、3ヶ月以内に病院へ送付すること。